

カーボンクレジット提供により 埼玉県熊谷市から感謝状が贈呈されました

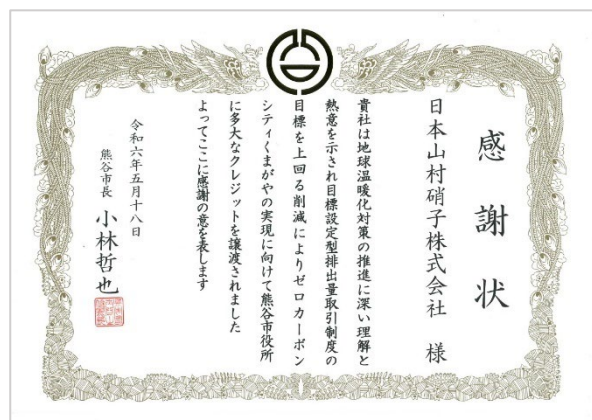
このたび、日本山村硝子株式会社（本社：兵庫県尼崎市、代表取締役社長執行役員：山村幸治、以下当社）は、「くまがやエコライフフェア 2024」席上にて、埼玉県熊谷市（以下、熊谷市）の事業のカーボンオフセットのためカーボンクレジットを提供したことに對して感謝状が贈呈されました。

埼玉県目標設定型排出量取引制度^{※1}の対象である当社埼玉工場（熊谷市）において温室効果ガス削減により創出されたクレジットを、制度対象外の熊谷市へ無償提供し、熊谷市の事業活動において止むを得ず排出される温室効果ガスをオフセット（埋め合わせ）するものです。

今回のカーボンオフセットは昨年度に引き続き、2回目となります。



左から大島副市長、辻環境室長、瀬木谷埼玉工場長



熊谷市から贈られた感謝状

1 熊谷市のオフセット対象事業と排出される CO₂ 合計 643 t-CO₂

(1) 公用車の運行で排出される CO₂

令和6年度（1年間）に、熊谷市の公用車 250 台から排出される CO₂ 排出量 574 t-CO₂

(2) 熊谷市公式ホームページの運用で排出される CO₂

令和6年度（1年間）に、熊谷市の公式ホームページの運用（サーバー稼働等）により排出される CO₂ 排出量 69 t-CO₂

2 日本山村硝子株式会社が提供するクレジット 合計 643 t-CO₂

日本山村硝子株式会社埼玉工場において、設定された削減目標を上回って削減した温室効果ガス量のうちの一部。約 1.2km² のブナ林が 1 年間に吸収する CO₂ 量に相当。

※1) 埼玉県目標設定型排出量取引制度

年間エネルギー使用量が原油換算で3か年度連続して1,500キロリットル以上となる大規模事業所が事業所ごとに設定されたCO₂排出の削減目標の達成に取り組む制度です。削減目標を上回って温室効果ガスを削減した事業所には、超過削減量（クレジット）が発行されます。大規模事業者は、発行された超過削減量を制度対象事業者に振替（売却等）することができます。今回、制度対象ではない熊谷市の更なる温室効果ガス削減活動支援として無償提供しました。

以上

ご参考)

埼玉県 報道発表ホームページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/offset-matching/r0604.html>

熊谷市 ホームページ

<https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/kankyo/kankyoseisaku/ondankasonota/20240401.html>

◎本件に関するお問い合わせ先

日本山村硝子株式会社 環境室

TEL：06-4300-6060